

足底腱膜炎や外反母趾、アキレス腱炎で モヤモヤ血管への動注治療を検討されている方へ

足底腱膜炎や外反母趾などの足の痛みの治療として、朝来ふじい整形外科クリニックでは「動注治療」という特殊な治療を行なっています。

この治療はオクノクリニックの奥野先生によって 2014 年に開発されたものです。当院ではオクノクリニックとライセンス契約を結び、この治療を行っています。

この治療は 10 分ほどで終了する治療法です。足首や足の甲または膝の裏に局所麻酔をして、点滴で用いる細いチューブを動脈という血管内に挿入し、そこから抗生物質でできた粒子（一時的塞栓物質）を投与する方法です。チューブは点滴に用いるもので非常に細く、数分の短い圧迫だけですぐに帰宅することが可能です。動注した当日のシャワーや入浴は制限なくお入りいただけます。

チューブから薬剤を流す際に、かかと、足の裏、足の指などと順番に薬剤が広がっていきます。

薬剤が各部位 に届いたときに、「熱い」や「ピリピリする」などの違和感や軽い痛みがある場合がほとんどです。これは短い時間の一時的なもので全く問題ありませんのでご心配なさらないください。また、薬剤の届いた部位の肌の色が変化しますがこれも一時的な現象です。

治療の効果はすぐに出るものではありません。足底の痛みは効果が出るまでに時間がかかることが多く、早い人では数日ですが、時間がかかる場合は 3 か月を要することも珍しくありません。通常 2 回の治療を受けていただくことをお勧めしています。初回と 2 回目の間隔は 1 か月半から 2 か月くらいが一般的です。また、5 年以上痛みが続いている方では、効果が出にくいことが知られています。また不安や抑うつスコアが高い方は効果が出るタイミングが遅れることが知られています。

副作用のリスクは極めて小さいです。しかしゼロではありません。考えられる副作用としては薬剤に対するアレルギー反応が起こりえます。また、一時的な皮膚の色調の変化が、わずかながら 1 か月ほど続く可能性があります。これらの副作用の詳細については別紙をご参照ください。

動注治療をご希望される方は、別紙（説明・同意書）に挙げた副作用の可能性についても説明を受け、ご理解いただいたうえで、受けていただきますようお願いいたします。